

どのような年齢層をターゲットにするかによっても生涯学習の取り組みの方向性は大きく異なります。調布市として、何を見直していくのか、どのように進めたいのか、方向性を定めて進める必要があると感じます。
例えば、街路樹に名札をつけるだけでも学習は始まるのではないのでしょうか。(都立ですが、神代植物公園に行って、そこに生えている植物名がわからず、そのままになる事が多いので、名前だけでもわかれば興味から調べて広がるのにと、いつも思います。)
生涯学習を通じて地域社会への参加の糸口となりますか？
生涯学習というこの表現がピンとこない。説明されないと分かりにくい。
生涯学習という言葉を知っている年齢を考えると言葉のイメージが60代～70代の方の為のものという感じがします。市が求めているコンセプトが分らないです。
生涯学習なんていわれると、一生続けなくてはならないようで重く感じる。広く浅く、気軽にちょっとやってみようかな、と思う程ではダメでしょうか。
学習という言葉の範疇にとらわれることのないよう、知的・文化的、又は健康促進に関する様々な活動(地域活動)を目指す言葉に変更すること。
一部の方々(行政側・市民側共に)の”ひとりよがり”の活動にならぬよう、お願いします。
「生涯学習」は聞いてはいますが、それって何をするんですか。何をもち「生涯学習」というのか、もっと定義づけする必要があると思います。

●施設整備
老朽化した施設を、使いやすくリニューアルする。
北部地域には市の施設が少なく、使用しにくい。コミュニティバスもまだ通らないので中心部に出にくい。
図書館やスポーツ施設は充実している。生涯学習と気負わずに、気軽に利用できる施設を拡充してほしい。
調布市は近隣の市に比べ、野球場、サッカー場は多くみられるが、テニス場が少なく、コートを取るのに大変です。ぜひ一考をお願いします。
多摩川にランナーやサイクリスト用のシャワールーム(ロッカールームやスペース付)を作してほしいです。
市民の発表の場としても使われるグリーンホールが貧しい雰囲気なのが残念。府中の森芸術劇場のような文化的な施設であってほしい。スポーツ施設も不足。西町公園のような誰でも気軽に立ち寄れる公園がもっとたくさんあってほしい。
高齢の方でもその年からでも学習が出来る様な施設とその施設への子供達の介入(支援、介護、介助など)を目的とした施設を希望。
交通の便がよくない上、施設が偏っているので利用しづらい。駐車場が少ない。学習したい人は多いと思うので、利用機会を増やせるよう、施設を整備してほしい。

●アンケート
本アンケート調査の期日がまだ過ぎていないのに、お礼の郵便が届くのは税金のムダかな・・・と思ってしまいました。礼状は送る必要無いのでは？
このようなアンケートへの記入は初めてです！期待しています。頑張ってください。
このようなアンケート等で企画を募集したりして、ありきたりで閉塞感のあるものから脱してほしいと思います。府中に負けないで！！
このアンケートでもっと「生涯学習」について教えて頂かないと良く意味が分らないままです。
このアンケートで初めて市が学習に力を入れたいということが分かりました。市在住 1983年～。
以前は市主催の学習活動が沢山あったが、予算削減と共に手を引いてしまい、折角芽生えた活動が中途半端となり、果ては消滅してしまったものが殆どである。途中で手を引くようなら初めから行わなければ良い。名目だけ取ろうというのである施策は不要。このようなアンケートもその類いならば行う必要はない。

●学習の循環・還元
生涯学習の中心者(市・人・団体)の情報の伝え方、熱意の伝え方、一学習してその結果を地域の人に還元して欲しい事を熱望している事を伝えることが必要。要は、学習した人を必要としている事。

市民自身が教える側にもなれることが大切だと思います。
自分の資格や経験を活かしたいが、どのようにすればよいのかわからない。受付窓口など入口がはっきりするとやりやすい。
自分が持っている資格がなかなかいかす事が出来ない(子育ての為時間や職場がない)。
生涯学習の関連施設や学習内容は形骸化して、単に施設がある、講座をやっているだけと思われる。次の学習を応用して、地域に貢献する流れがない。
仕事と家事で日々を過ごし、生涯学習とは縁がありません。インターネットで繋がるのとは違う、直接顔を合わせての交流・学習の機会は大切だと思います。しかし、生涯学習で得るのは専門的な知識ではないので、何らかの形で学校教育の場に入るような折には、慎重を期して頂きたいと思います。
学校教育現場にシルバー人材を登用し、またその道(福祉現場に学生を)をお互いに支え合える社会になってほしい。
学習の成果が何らかの形で社会の役に立つものであることが望ましい。
学習したこと、身につけたものを生かして次につなげる(仕事や指導、資格取得など)の流れがあると、学ぶ意欲も上がると思います。
何か福祉に役立てたいが、方法がわからない。

●連携
他地域との連携。世田谷、狛江、府中、三鷹など。
市内のホームセンターや園芸店で、植物の寄せ植えや手入れの仕方などを教えてくれる教室があればと思います。
市内にもいくつかの大学があるので、専門分野の学習を身近なものに関連付けて、興味深く講義してほしい。
市内には、様々な能力のある方が多くいらっしゃるの、人材を発掘し指導する機会をいただき、学びたい人に学習するチャンスを充実して下さい。
自治会とのつながりが無いように思える。
市所在大学、研究所との連携により学習講座を提供、郷土を知る歴史、文化講座の提供。
近隣の市との、スポーツ交流会。
ある地方自治体が民間のスポーツクラブとタイアップし、講座を開催した所利用者が増えたと報道されていました。調布市でも是非検討していただきたいです。
(雑学大学)友人にすすめられ生涯学習に週1度通学に、経験があるが手術入院の為続かず断念しました。今から15年程前のこと、都市部では既に活動はかなり進んでおり、調布市でも雑学大学のような学習を近隣都市と提携してスポットの学習じゃなく受講者が満足できる学習をすべき。

●学習・発表の場
昔から住んでいるお年寄りや子供が産まれたばかりの世帯など幅広いのでそういった人達が集う場所が欲しいです。特に小さな子供が遊べる施設(自然と触れ合えとなおよい)をもっと増やして欲しいです(例えば府中市のように、郷土の森の水遊びの池など見習って欲しい)。
まずは隣人を知る機会、会話の機会の少なさにどうする事も出来ません。気軽にいつでもどこでも離れでも話合いの出来る場所が沢山あってはと思います。
生涯学習の場所が中心市街に集中する事なく各地域に分散して欲しいです。
生涯学習成果の発表の場がもっと増えるとよいかと思います。メディア(TVやラジオ、新聞など)、地域ごとの文化祭など、多くの人々が目にし、知る機会が増えると、生涯学習への取り組み意欲も増し、やりがいも生まれるのではないかと思います。
高齢になっても市民として活動出来る場があればいいと思う。
活動場所を広めて欲しい。今居る生涯学習のクラブの道具が悪すぎてどうにもならないです。何人が怪我してる。どうにかありませんか？
学習の場が駅、バス停より遠いと継続がしにくい。
学習してみたいものの場所が少し遠いので、出精の私にはなかなか出て行ってみようとする気持ちがまだまだ湧いてこないの、もう少し静かにしています。

●ボランティア・人材活用
ボランティア活動をする中で、ボランティアを管理する人、ボランティアを養成する人を養成し、ボランティアが自活できる仕組みがあればよいと思いました。
老人向けのボランティアをいつかしたいと思っています。書道を教えたり、リフレクソロジーを施術してさしあげることができます。何かボランティアをしたいけれど、自分一人ではできないし、と思っている方は多いのではないのでしょうか。
地域活動やボランティアに参加したくてもすでに仲間の結束が強い所へ入っていくのは勇気がいる。市のボランティア講座は時間が合わない。興味があってもきっかけ、勇気がないというのが本音です。
お年寄りの方々から、手遊びや昔話などをしてもらう機会を、小さな子供に与えてほしい。
以外と年齢制限される場合があります。例えばボランティア等がそうです。ボランティア精神を持っていても制限されると・・・困ります。
味スタで地震の時、ボランティア希望でしたが、情報がなく何も出来なかった。

●指導者・専門家
調布は文化・スポーツ面に予算を掛けるつもりはないのですか。素人の無い知恵よりも、それぞれの分野のプロなりコーディネーターの知恵を借りて、質の高いものを考えるべきだと思います。全てがというわけではありませんが。楽しむ事も大事ですから。
施設の管理者ではなく、施設が提供するサービスの公的先導者が少ない。またはジャンルによってはいないのが調布の特徴。
指導者を育てる事と、興味を持ちたくなるような集いを考える。
各地域で、ラジオ体操や太極拳、ウォーキングなどのスポーツインストラクター付きのプログラムを実施してほしい。
「年寄りの趣味」といった感じが強いかと思います。もっと学生・社会人へのアピールをし、講師にも、そのジャンルの第一線の方達が参加していただけるといいなと思います。

●調布らしさ
昔ながらの文化を守る活動。(手作り等々)
調布の歴史、地理に関する学習の機会を望みます。
映画・TVドラマ等への市民の参加。最、映画の街”調布”のアピールを。
「映画のマチ」ふさわしく、図書館において活字資料だけでなく、映画(特に調布ゆかりの日本映画)の映像資料を戦前から系統的に収集して、市民に公開してほしい。
せっかく東京なのにこんなに緑が、自然がたくさんあるから今の緑を守れるような活動はどうでしょうか。自分で動くまでに至らないが自然に情報が入れば動く人はいると思うので(私とか)、テレビやラジオ、市内のアナウンスを使って頂けたり、やはりチラシや「ちょうふ」だとそのままりサイクル古紙になりかねないような気がします。野川の生き物を守ろうとか、いつかカエルの鳴き声も聞けなくなるのかな。

●その他
高齢化が進む中で周囲とのかかわりも重要ではありますが、自分自身が、残る日々を少しでも軽快に暮らすために、自分の能力に合った事をやり続けられるような環境を望みます。
広い目で見る事で気付きのなかったことにも目がいき、新しい物、忘れていた何かに気付くことができるのでは？
定年後というイメージが強い。今は費やす時間が無い。
地域の自治体組織が新しい住人には理解できないし、参加したくない。
世界が揺れ動く中、人間の欲している根っここの部分は変わらないような気がします。日本人らしさは持ち続けて欲しいと願います。
生涯学習をする上での私の悩み、体調で決まるのでお休みするとその続きが続いていられるかが私の悩みの1つです。
生涯学習というよりも70歳代が集まり、女性色々行っています。自分達の好きな事をデカバン広場で。集団で学び、集団で経験を考案・分析し、次への集団における学びにつなげていけるスキルを明らかにして下さい。

このままでよいと思います。

かかわりたくない人と一緒になったらどうしようという不安がある。

60～70代の方を見ていると(生涯学習への意欲のある方に限っていると)やり続ける為には金銭的には学習のみにはそう負担はないが、アフタースクールや人付き合いの面で大変な部分を感じるという声を良く聞きます。

IV 資料編

1 調査票

生涯学習振興計画策定に向けた市民アンケート調査

～生涯学習について皆様の声をお聞かせ下さい～

【アンケート調査へのご協力のお願い】

日頃より、市政にご協力をいただき誠にありがとうございます。

市では、生涯学習活動を市民の皆様のニーズに即しつつ、体系的・計画的に推進するため、また市全体の目標である「ぬくもりのあるまちづくり」をめざして「生涯学習振興計画」の策定を進めています。

このアンケート調査では、無作為で抽出された市内在住の18歳以上の約2,500名の皆様を対象に、日頃、市民の皆様が取り組まれている生涯学習・地域活動・ボランティア活動の現状や、日頃感じている生涯学習についてのご意見・ニーズなどをおうかがいし、計画づくりに活かすとともに、市の生涯学習事業を推進していくための基礎資料とするために実施するものです。

なお、調査結果につきましては、統計的に処理し、市の施策・事業推進の目的以外には使用いたしません。アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 23 年 9 月

調布市長 長 友 貴 樹

<ご記入にあたってのお願い>

- 1 プライバシー保護の関係上、この調査票にはお名前・ご住所を記入しないようお願いいたします。
- 2 個人の意識を調査しますので、ご本人がご記入ください。
- 3 お答えは、あてはまる回答の番号に○を付けてください。また、記入欄については、具体的に内容をご記入ください。
- 4 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）をご利用のうえ、**9月16日（金）まで**に郵便ポストにご投函ください。

※ 封筒への住所・氏名の記入は不要です。

◎この調査に関するお問い合わせは、次の通りです。
調布市文化会館たづくり 11 階 生涯学習交流推進課
TEL：042-441-6112 FAX：042-441-6115

ご自身について

◆あなたご自身について、次の事項にお答えください。（ひとつに○）

性別	1 男性	2 女性		
年齢	1 18～19歳	4 40～49歳	7 70～79歳	
	2 20～29歳	5 50～59歳	8 80歳以上	
	3 30～39歳	6 60～69歳		
職業	1 会社員	3 公務員	5 学生	7 無職
	2 自営業	4 専業主婦・主夫	6 その他（	）
住まい	1 東部地域	3 中心市街地（※）	5 西部地域	
	2 北部地域	4 南部地域		

（※中心市街地とは、小島町1～2丁目・布田1～4丁目・国領1～5・8丁目です。）

1 生涯学習の現状など

問1 あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。（ひとつに○）

- 1 聞いたことがあり、内容も理解している
- 2 聞いたことがあるが、内容はよくわからない
- 3 聞いたことがない

問2 「生涯学習」とは、人が生涯にわたり、自らの意志で自発的に行う学習活動のことです。あなたは、この1年くらいの間に、次に示す「生涯学習」をしたことがありますか。（○はいくつでも）

- 1 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）
- 2 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）
- 3 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）
- 4 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）
- 5 育児・教育（幼児教育、教育問題など）
- 6 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
- 7 国際理解・国際交流に関すること
- 8 パソコン・インターネットに関すること
- 9 地域活動・ボランティア活動やそのために必要な知識・技能
- 10 自然体験や生活体験などの体験活動
- 11 まちづくり・地域づくりに関すること
- 12 学校（高校、大学、大学院、専修学校、各種学校）の正規課程での学習
- 13 その他（
- 14（この1年くらい）していない → 問5へお進みください

【問2で1～13と回答した方のみお答えください】


問3 あなたは、どのような場所や形態で「生涯学習」をしたことがありますか。（〇は
いくつでも）

- 1 カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育
- 2 公民館などにおける市などが主催する講座や教室
- 3 学校（高校、大学、大学院、専修学校、各種学校）の公開講座や教室
- 4 学校（高校、大学、大学院、専修学校、各種学校）の正規課程
- 5 職場の教育、研修
- 6 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動
- 7 図書館、博物館、美術館
- 8 ラジオやテレビ
- 9 パソコンやインターネットなど（情報端末、ゲーム機器などの活用を含む）
- 10 自宅での学習活動（書籍など）
- 11 その他（)
- 12 わからない

【問2で1～13と回答した方のみお答えください】

問4 あなたは、「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生か
していますか。（〇はいくつでも）

- 1 仕事や就職の上で生かしている
- 2 資格の取得に生かしている
- 3 家庭・日常の生活に生かしている
- 4 地域活動・ボランティア活動に生かしている
- 5 その知識・技能や経験を土台にして、さらに広く、深い知識・技能を身につけるよう
努めている
- 6 他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に生かしている
- 7 自分の人生がより豊かになっている
- 8 自分の健康の維持・増進に役立っている
- 9 学業、学校生活の上で生かしている
- 10 その他（)
- 11 わからない
- 12 生かしていない

 問6へお進みください

【問2で14と回答した方のみお答えください】

問5 この1年くらい「生涯学習」をしていない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- 1 仕事や家事が忙しくて時間がない
- 2 子どもや親などを見てくれる人がいない
- 3 費用がかかる
- 4 必要な情報（内容・時間・場所・費用）がなかなか入手できない
- 5 一緒に学習や活動をする仲間がいない
- 6 身近なところに施設や場所がない
- 7 講座や教室などが、自分の希望する内容や実施時期・時間に合わない
- 8 家族や職場など周囲の理解が得られない
- 9 きっかけがつかめない
- 10 する必要を感じない
- 11 特に理由はない
- 12 その他（)
- 13 わからない

【全ての方がお答えください】

問6 市の生涯学習関連施設の中で知っているもの、よく利用するものはどれですか。

施設名	知っている (〇はいくつでも)	よく利用する (〇は3つまで)
1 たづくり（図書館除く）・グリーンホール	1	1
2 あくろす	2	2
3 せんがわ劇場	3	3
4 公民館	4	4
5 図書館	5	5
6 郷土博物館・実篤記念館	6	6
7 体育館	7	7
8 屋外スポーツ施設（テニス、野球場など）	8	8
9 総合福祉センター	9	9
10 地域福祉センター・ふれあいの家	10	10
11 小・中学校（学校開放など）	11	11
12 CAPS・青少年交流館	12	12
13 多摩川自然情報館	13	13
14 その他（)	14	14

問7 市の生涯学習関連施設を利用する上での問題点は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 使える時間帯が希望と合わない | 7 サービスが悪い |
| 2 使える日にちや曜日が希望と合わない | 8 希望する講座や教室がない |
| 3 予約が取りにくい | 9 希望する展示・蔵書・資料がない |
| 4 利用に関する情報が乏しい | 10 必要がない |
| 5 施設の場所が利用しづらい | 11 その他() |
| 6 料金が高い | |

問8 あなたは「生涯学習」に関する情報を、どのように得ていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 パンフレット・チラシ・ポスター | 7 調布市の「さがす見つかるシステム」 |
| 2 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ | 8 生涯学習情報コーナー |
| 3 市や都の広報紙 | 9 友人・知人からの紹介 |
| 4 インターネット(パソコン) | 10 特にない |
| 5 インターネット(携帯電話) | 11 その他() |
| 6 町会・自治会の回覧 | 12 得る手段がわからない |

問9 あなたはどのような「生涯学習」に関する情報を望みますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 講座・教室の情報 | 8 学習グループ・団体などの情報 |
| 2 イベント情報(講演・展覧会など) | 9 情報を発信している主体の情報 |
| 3 施設の情報 | 10 資格取得の情報 |
| 4 学習教材・プログラムの情報 | 11 民間の学習情報 |
| 5 講師や指導者の情報 | 12 特にない |
| 6 地域活動・ボランティアの情報 | 13 その他() |
| 7 大学など教育機関の情報 | 14 わからない |

2 生涯学習に対する今後の意向

問10 あなたは、今後、「生涯学習」をしてみたいと思いますか。(ひとつに〇)

- 1 してみたいと思う
- 2 どちらかといえば、してみたいと思う
- 3 どちらかといえば、してみたいと思わない
- 4 してみたいと思わない
- 5 わからない

問 11 あなたは、今後、どのような「生涯学習」の機会が増えればよいと思いますか。
(○はいくつでも)

- 1 公民館・図書館・博物館を利用した学習機会
- 2 市や関連団体が主催する講座や教室などの学習機会
- 3 大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど
- 4 民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどを活用した学習機会
- 5 民間の通信教育
- 6 パソコン・インターネットを活用した学習機会
- 7 ボランティア活動などを通じた学習の機会
- 8 自然体験や生活体験などの体験活動の機会
- 9 地域づくりに関する学習機会
- 10 コミュニティ・ビジネスに関する学習機会
- 11 特にない
- 12 その他 ()
- 13 わからない

問 12 あなたは、今後、どのような「地域活動」や「ボランティア活動」に参加してみたいと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 公共施設での活動(展示の説明など)
- 2 趣味のサークル活動
- 3 青少年健全育成に関する活動(青少年指導・少年補導・体育指導・子ども会など)
- 4 自治会や地区協議会などの地域活動
- 5 スポーツ指導に関する活動(スポーツ・レクリエーション・クラブ活動指導など)
- 6 芸術・文化に関する活動
- 7 人々の学習活動に関する指導・助言・運営協力などの活動(料理・英語・書道など)
- 8 自然・環境保護に関する活動(環境美化・リサイクル活動など)
- 9 国際交流(協力)に関する活動(通訳・難民援助・技術援助・留学生援助など)
- 10 地域の福祉に関する活動(高齢者や障害者などに対する介助など)
- 11 子育て支援に関する活動(保育・子育てサークル活動など)
- 12 保健・医療・衛生に関する活動(病院ボランティアなど)
- 13 自主防災活動や災害援助活動
- 14 NPO活動
- 15 参加したくない
- 16 その他 ()
- 17 わからない

3 生涯学習の成果

問 13 あなたは、「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外のために生かすべきだと思いますか。（ひとつに○）

- | | | |
|---------------------|---|----------------|
| 1 生かすべきである | } | → 問 14へお進みください |
| 2 どちらかといえば、生かすべきである | | |
| 3 どちらかといえば、生かす必要はない | } | → 問 16へお進みください |
| 4 生かす必要はない | | |
| 5 わからない | | |

【問 13 で 1～2 と回答した方のみお答えください】

問 14 「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのような場所・機会に生かすべきだと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 家庭生活を通じて
- 2 学校支援活動を通じて
- 3 地域活動を通じて
- 4 仕事・職場を通じて
- 5 趣味・サークル活動などを通じて
- 6 その他（ ）

【問 13 で 1～2 と回答した方のみお答えください】

問 15 「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外のために生かすためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 発表の機会の充実
- 2 地域活動・ボランティアの情報提供の充実
- 3 人材登録制度の充実
- 4 意欲を高める評価の推進
- 5 地域づくりに関する講座の充実
- 6 知識・技能や経験を生かす人と活動の場を結ぶコーディネーターの充実
- 7 その他（ ）

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、市内で学習活動、地域活動、ボランティア活動など、さまざまな生涯学習関連活動をされている皆様の中から、調布市の「さがす見つかるシステム」に登録されている団体を対象に、日頃感じている生涯学習についてのご意見・ニーズ等をおうかがいし、計画づくりに活かすとともに、市の生涯学習事業を推進していくための基礎資料とするために実施いたしました。また、調査結果をふまえ、後日複数の団体からヒアリングを実施しています。

2 調査設計

- (1) 調査地域：調布市全域
- (2) 調査対象と抽出方法：「さがす見つかるシステム」に登録している生涯学習団体約 810 団体、市民活動団体約 380 団体の中から、主な活動分野を基に、生涯学習団体 140 団体、市民活動団体 60 団体の計 200 団体を抽出。
- (3) 調査期間：平成 23 年 9 月
- (4) 調査方法：郵送による配布・回収

3 回収結果

	配布数	回収数	回収率
登録団体	200	138	69.0%

4 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N」は各設問の集計対象者数を表します。
- 【参考】として、生涯学習に関する世論調査（平成 20 年 5 月 内閣府）（以下【平成 20 年・内閣府調査】）との比較を行っています。

II 調査結果

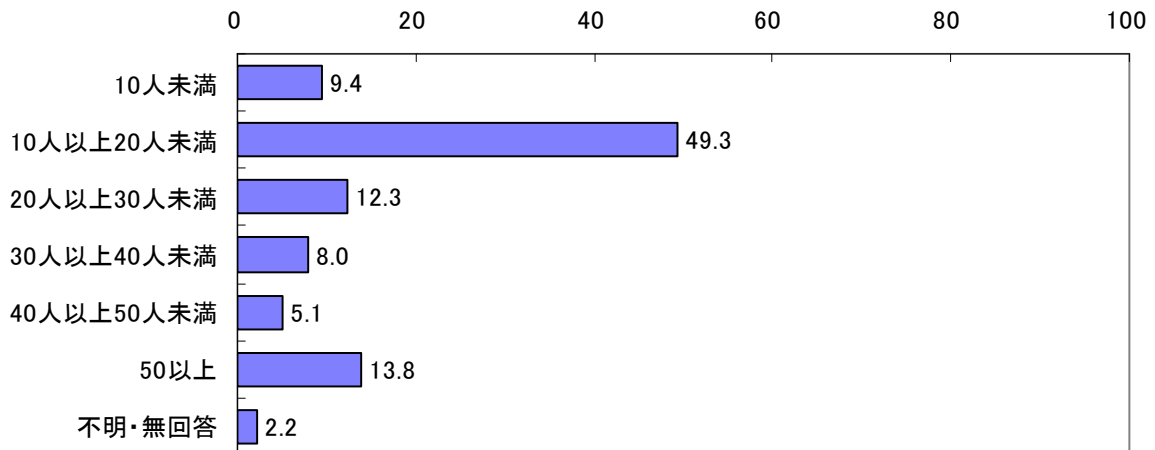
■ 会員数・活動者数について

会員数については、「10人以上20人未満」の割合が最も高く、49.3%となっています。

■ 会員数（数量）

N=138

(%)



■ 会員数 × 会員数（内、市内在住）

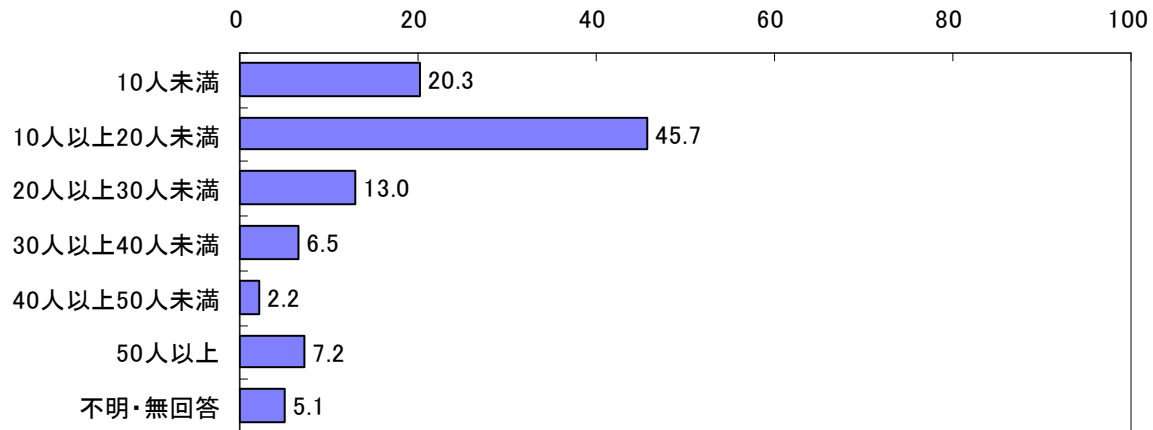
		会員数（内、市内在住）							
		N	10人未満	10人以上 20人未満	20人以上 30人未満	30人以上 40人未満	40人以上 50人未満	50人以上	不明・ 無回答
会員数	10人未満	13	100	-	-	-	-	-	-
	10人以上 20人未満	68	29.4	69.1	-	-	-	-	1.5
	20人以上 30人未満	17	-	41.2	58.8	-	-	-	-
	30人以上 40人未満	11	18.2	9.1	36.4	36.4	-	-	-
	40人以上 50人未満	7	-	14.3	-	71.4	14.3	-	-
	50人以上	19	-	-	-	10.5	10.5	78.9	-

常時活動者数については、「10人以上20人未満」の割合が最も高く、45.7%となっています。

■常時活動者数（数量）

N=138

(%)



■会員数×常時活動者数

		N	常時活動者数						
			10人未満	10人以上 20人未満	20人以上 30人未満	30人以上 40人未満	40人以上 50人未満	50人以上	不明・ 無回答
会員数	10人未満	13	92.3	-	-	-	-	-	7.7
	10人以上 20人未満	68	20.6	75	1.5	-	-	-	2.9
	20人以上 30人未満	17	-	47.1	52.9	-	-	-	-
	30人以上 40人未満	11	18.2	18.2	27.3	36.4	-	-	-
	40人以上 50人未満	7	-	14.3	28.6	28.6	14.3	-	14.3
	50人以上	19	-	5.3	15.8	15.8	10.5	47.4	5.3

■常時活動者数×常時活動者数（内、市内在住）

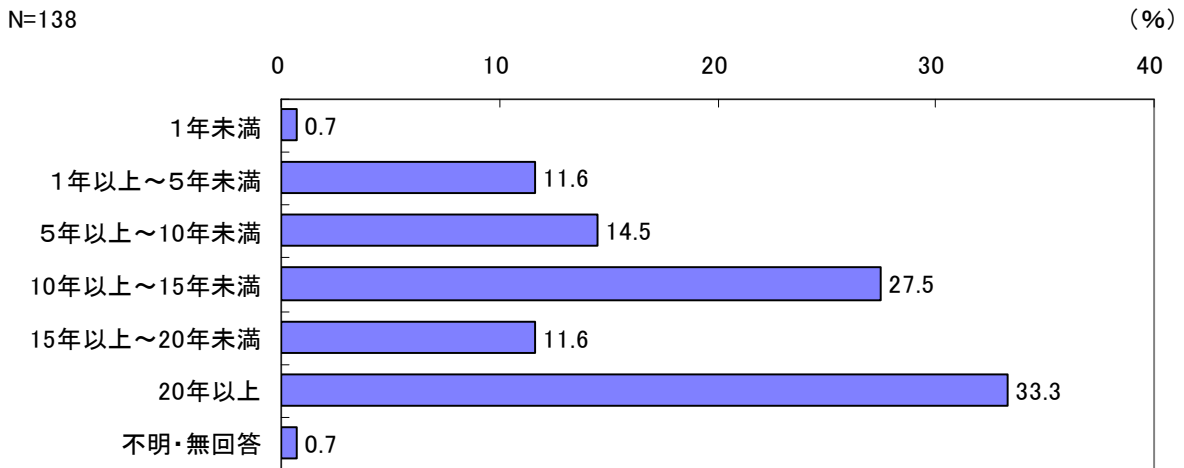
		N	常時活動者数（内、市内在住）						
			10人未満	10人以上 20人未満	20人以上 30人未満	30人以上 40人未満	40人以上 50人未満	50人以上	不明・ 無回答
常時活動者数	10人未満	28	100.0	-	-	-	-	-	-
	10人以上 20人未満	63	25.4	66.7	-	-	-	-	7.9
	20人以上 30人未満	18	5.6	33.3	61.1	-	-	-	-
	30人以上 40人未満	9	11.1	-	44.4	44.4	-	-	-
	40人以上 50人未満	3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-
	50人以上	10	-	-	-	-	20.0	80.0	-

1 団体の概況について

問1 貴団体の活動年数をお答えください。

活動年数については、「20年以上」が33.3%と最も高く、次いで「10年以上～15年未満」が27.5%、「5年以上～10年未満」が14.5%となっています。

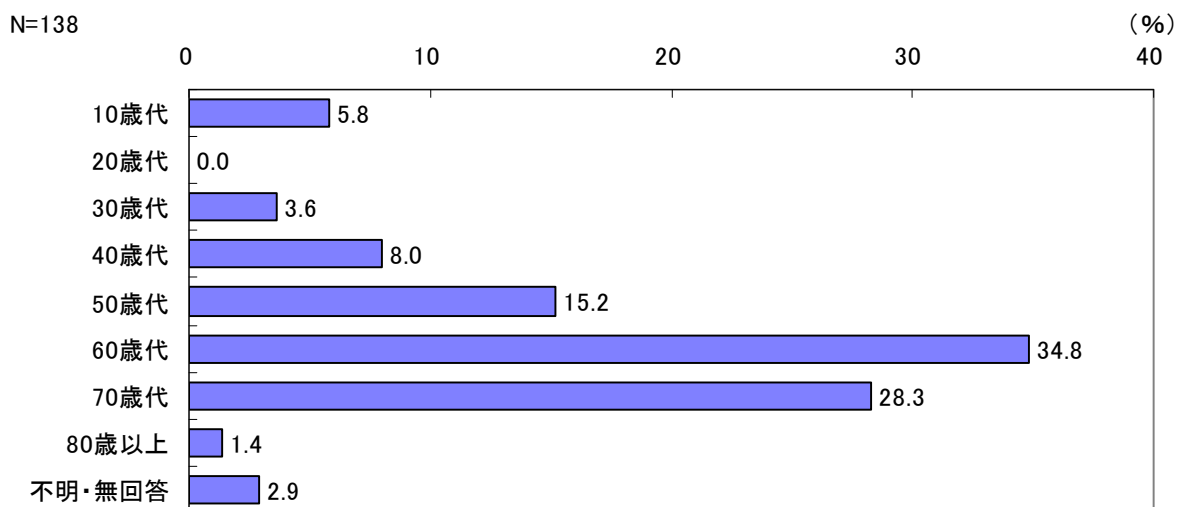
■活動年数（単数回答）



問2 貴団体の会員構成としては、どの年代が多いですか。

会員で最も多い年代層については、「60歳代」が34.8%と最も高く、次いで「70歳代」が28.3%、「50歳代」が15.2%となっています。

■会員構成（多い年代）（単数回答）

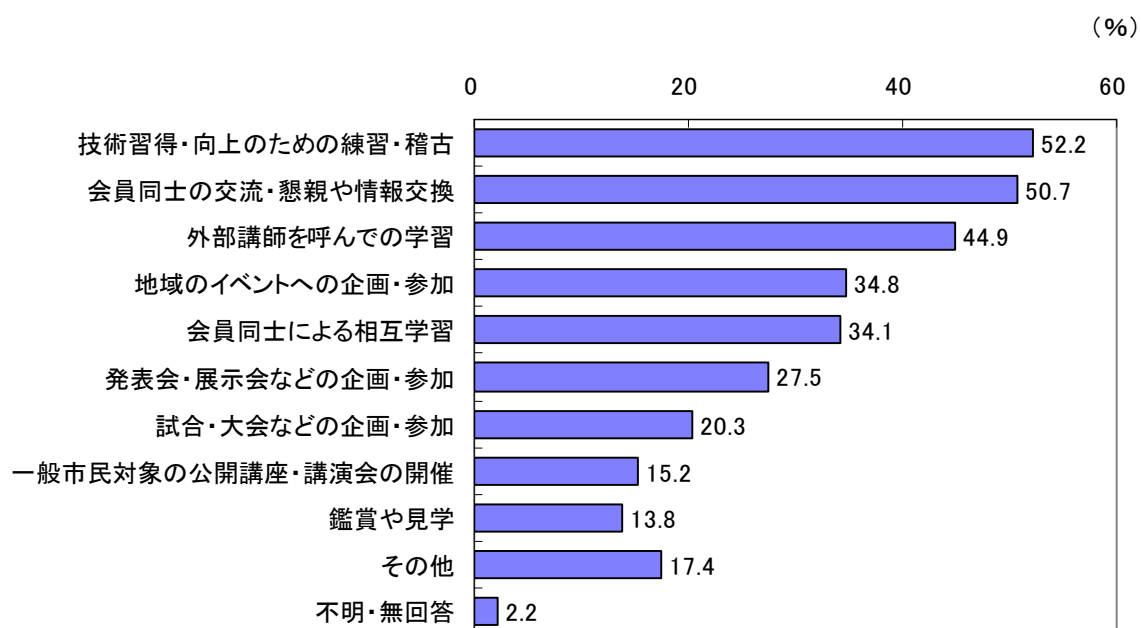


問3 貴団体は現在主にどのような形で活動を行っていますか。

活動の形態については、「技術習得・向上のための練習・稽古」が 52.2%と最も高く、次いで「会員同士の交流・懇親や情報交換」が 50.7%、「外部講師を呼んでの学習」が 44.9%となっています。

■主な活動形態（複数回答）

N=138



問4 活動上の課題（困っていることなど）はどのようなことですか。

活動上の課題については、「新たな会員等の確保が難しい」が47.1%と最も高く、次いで「適切な活動場所が確保しづらい」が26.1%、「リーダーや役員のなり手がいない」が21.0%となっています。

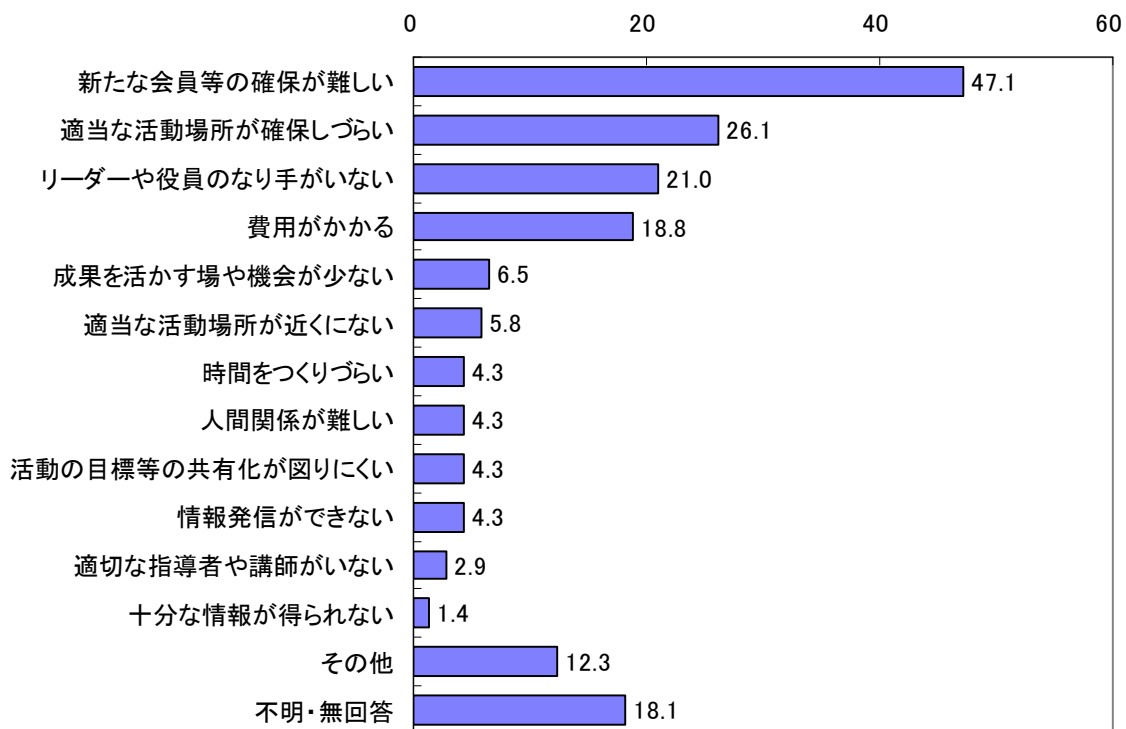
常時活動者数別にみると、【50人以上】の団体で「適切な活動場所が確保しづらい」の割合が高くなっています。

会員構成別（最も多い年代別）にみると【30歳代】の団体で「時間をつくりづらい」の割合が高くなっています。

■活動上の課題（複数回答）

N=138

(%)



■活動上の課題×常時活動者数

		活動上の課題														
		費用がかかる	時間をつくりづらい	適切な指導者や講師がいない	適当な活動場所が近くにない	適当な活動場所が確保しづらい	成果を活かす場や機会が少ない	新たな会員等の確保が難しい	リーダーや役員のなり手がいない	人間関係が難しい	活動の目標等の共有化が図りにくい	十分な情報が得られない	情報発信ができない	その他	不明・無回答	
N																
常時活動者数	10人未満	28	14.3	14.3	-	-	14.3	7.1	46.4	21.4	7.1	3.6	7.1	-	7.1	21.4
	10人以上 20人未満	63	17.5	1.6	1.6	7.9	27.0	9.5	41.3	15.9	1.6	1.6	-	6.3	12.7	22.2
	20人以上 30人未満	18	27.8	-	5.6	11.1	38.9	5.6	55.6	33.3	5.6	5.6	-	5.6	11.1	16.7
	30人以上 40人未満	9	22.2	-	11.1	-	22.2	-	44.4	44.4	11.1	-	-	-	33.3	-
	40人以上 50人未満	3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	100.0	33.3	-	-	-	33.3	-	-
	50人以上	10	20.0	-	-	-	40.0	-	40.0	20.0	10.0	10.0	-	-	10.0	10.0

■活動上の課題×問2会員構成（多い年代）

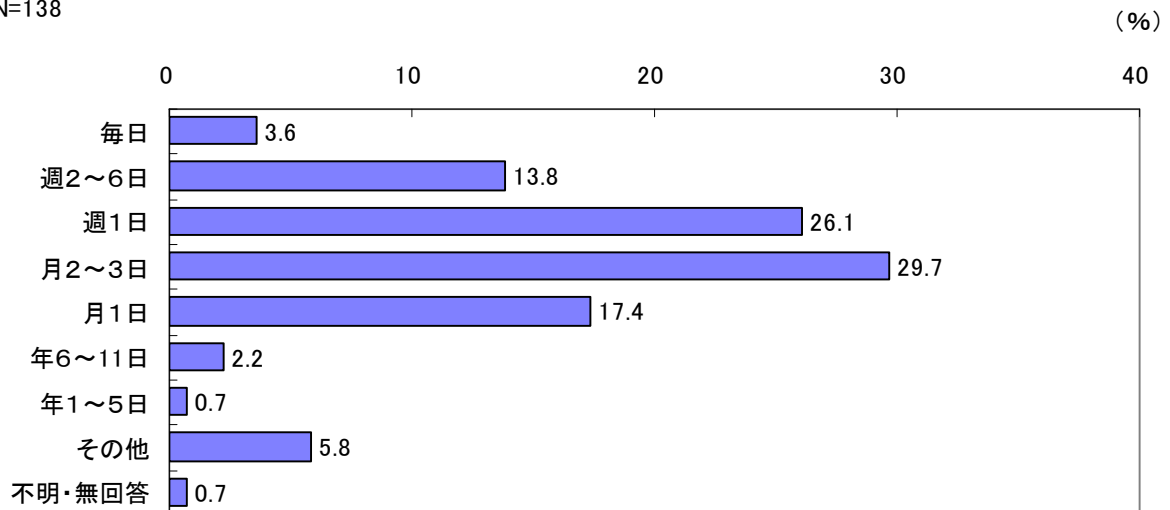
		活動上の課題														
		費用がかかる	時間をつくりづらい	適切な指導者や講師がいない	適当な活動場所が近くにない	適当な活動場所が確保しづらい	成果を活かす場や機会が少ない	新たな会員等の確保が難しい	リーダーや役員のなり手がいない	人間関係が難しい	活動の目標等の共有化が図りにくい	十分な情報が得られない	情報発信ができない	その他	不明・無回答	
N																
(多い年代) 会員構成	10歳代	8	37.5	-	-	12.5	25.0	12.5	50.0	12.5	-	-	-	-	12.5	12.5
	20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	5	20.0	40.0	-	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0
	40歳代	11	27.3	-	-	-	45.5	27.3	54.5	27.3	-	-	-	9.1	-	18.2
	50歳代	21	28.6	9.5	-	14.3	23.8	9.5	42.9	9.5	-	-	4.8	4.8	9.5	23.8
	60歳代	48	10.4	2.1	-	4.2	35.4	2.1	43.8	18.8	8.3	8.3	-	4.2	16.7	20.8
	70歳代	39	15.4	2.6	7.7	-	12.8	5.1	56.4	30.8	5.1	2.6	-	5.1	12.8	12.8
	80歳以上	2	50.0	-	-	-	-	-	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-

問5 貴団体の活動頻度はどのくらいですか。

活動頻度については、「月2～3回」が29.7%と最も高く、次いで「週1日」が26.1%、「月1日」が17.4%となっています。

■活動頻度（単数回答）

N=138

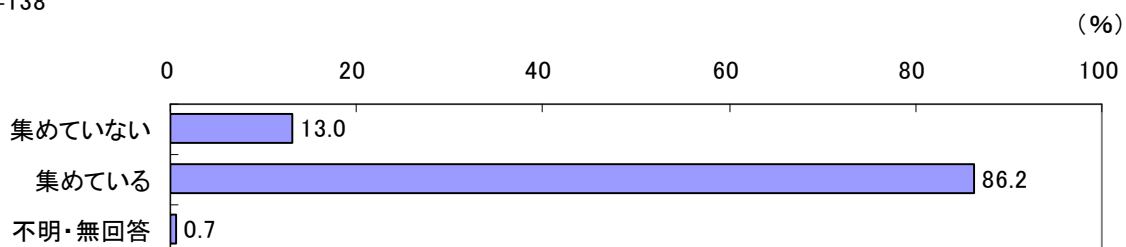


問6 会費は集めていますか。

会費の徴収については、「集めている」が86.2%、「集めていない」が13.0%となっています。

■会費の徴収（単数回答）

N=138

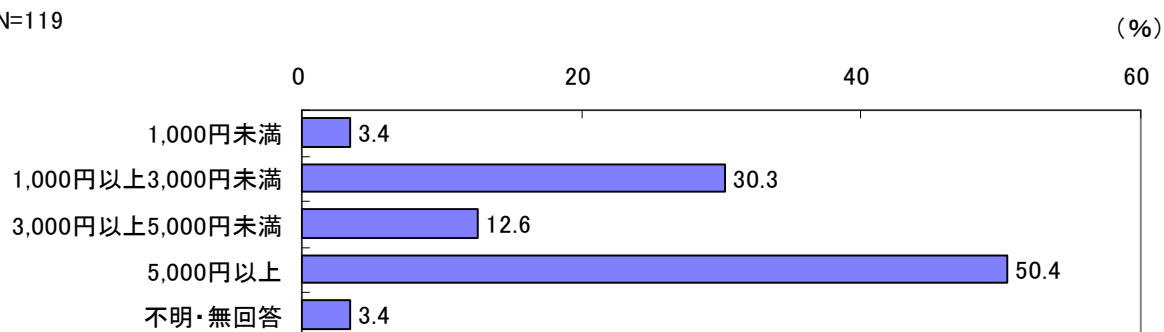


問6-1 年間いくらですか？

会費年額については、「5,000円以上」が50.4%と最も高く、次いで「1,000円以上3,000円未満」が30.3%、「3,000円以上5,000円未満」が12.6%となっています。

■会費年額（単数回答）

N=119



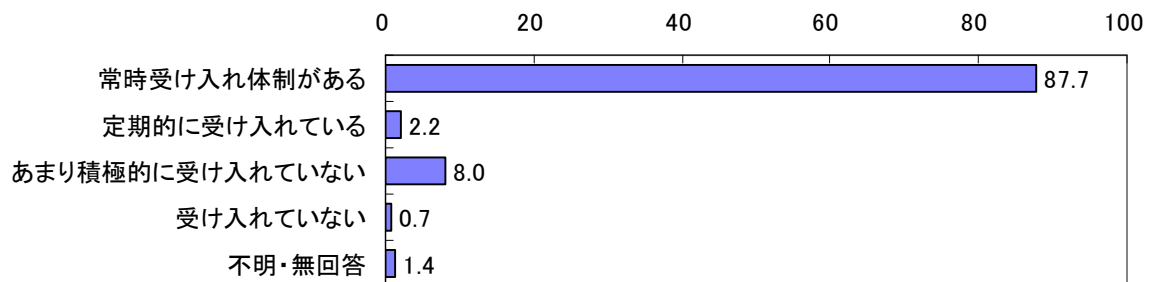
問7 新会員の受け入れは常時行われていますか。

新会員の受け入れについては、「常時受け入れ体制がある」が87.7%と最も高く、次いで「あまり積極的に受け入れていない」が8.0%、「定期的に受け入れている」が2.2%となっています。

■新会員の受け入れ（単数回答）

N=138

(%)



【「定期的に受け入れている」と答えた方】

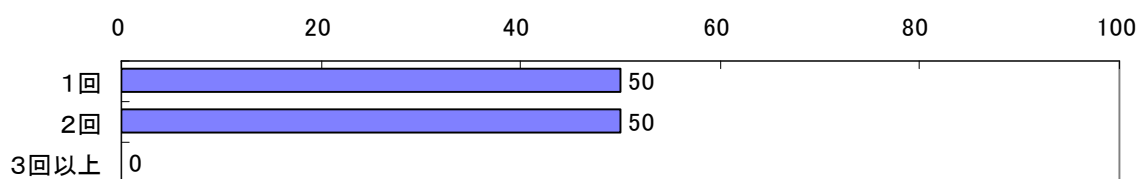
問7-1 年間の受け入れ回数

受け入れ回数については、4団体のうち「年1回」または「年2回」がそれぞれ2団体ずつとなっています。

■受け入れ回数（年間）（数量）

N=4

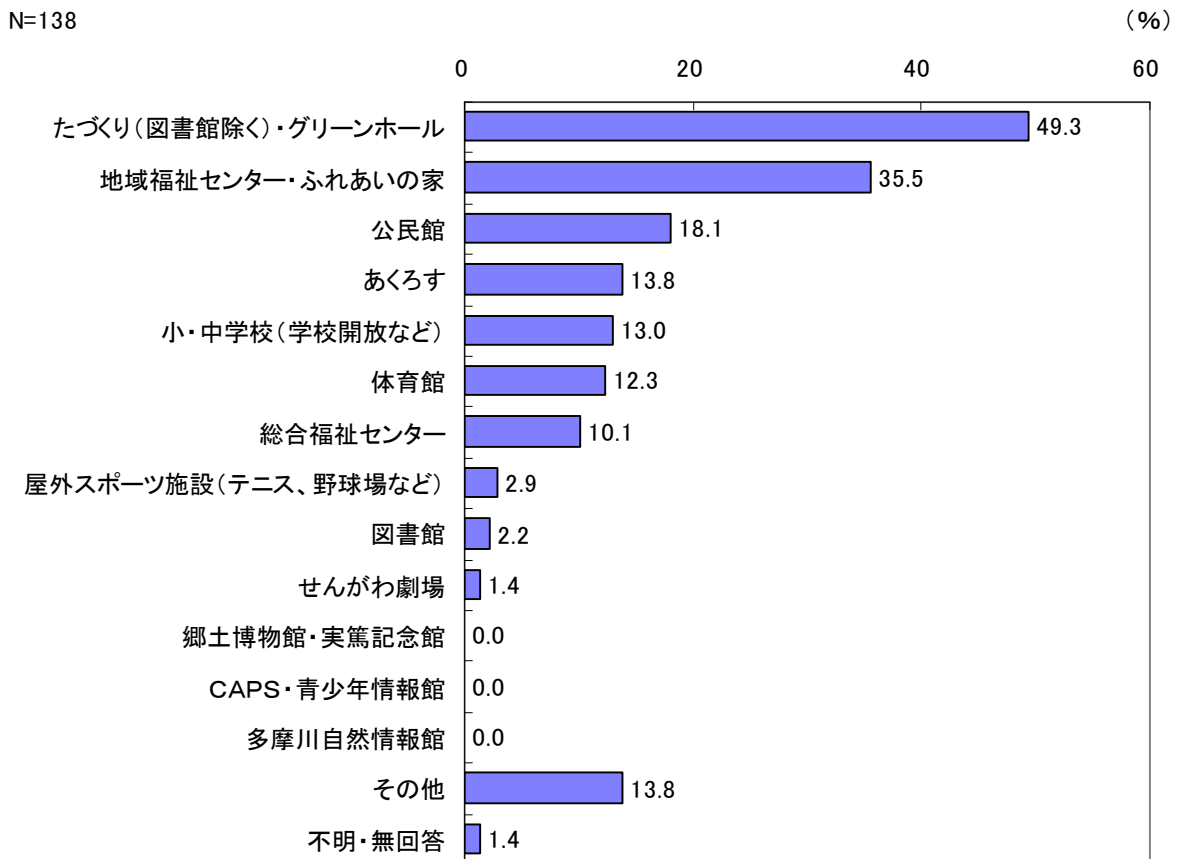
(%)



問8 市の生涯学習関連施設のうち、団体活動でよく利用するものはどれですか。

団体活動でよく利用する施設については、「たづくり（図書館除く）・グリーンホール」が49.3%と最も高く、次いで「地域福祉センター・ふれあいの家」が35.5%、「公民館」が18.1%となっています。

■団体活動でよく利用する市の生涯学習関連施設（複数回答）



2 団体の活動の具体的状況について

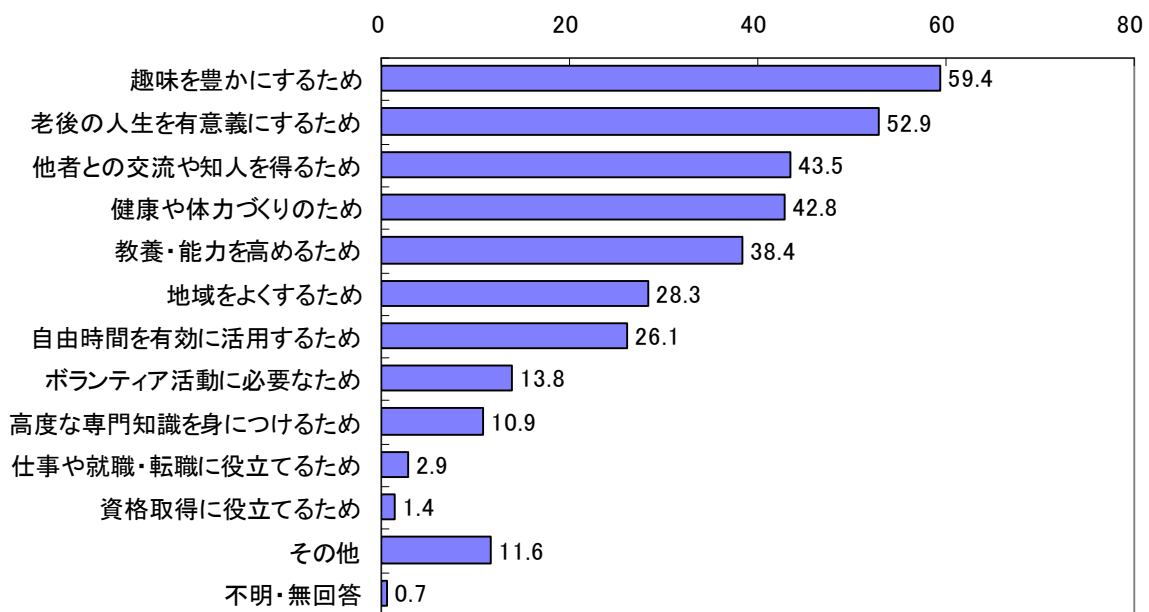
問9 貴団体の活動目的は何ですか。

団体の活動目的については、「趣味を豊かにするため」が59.4%と最も高く、次いで「老後の人生を有意義にするため」が52.9%、「他者との交流や知人を得るため」が43.5%となっています。

■団体の活動目的（複数回答）

N=138

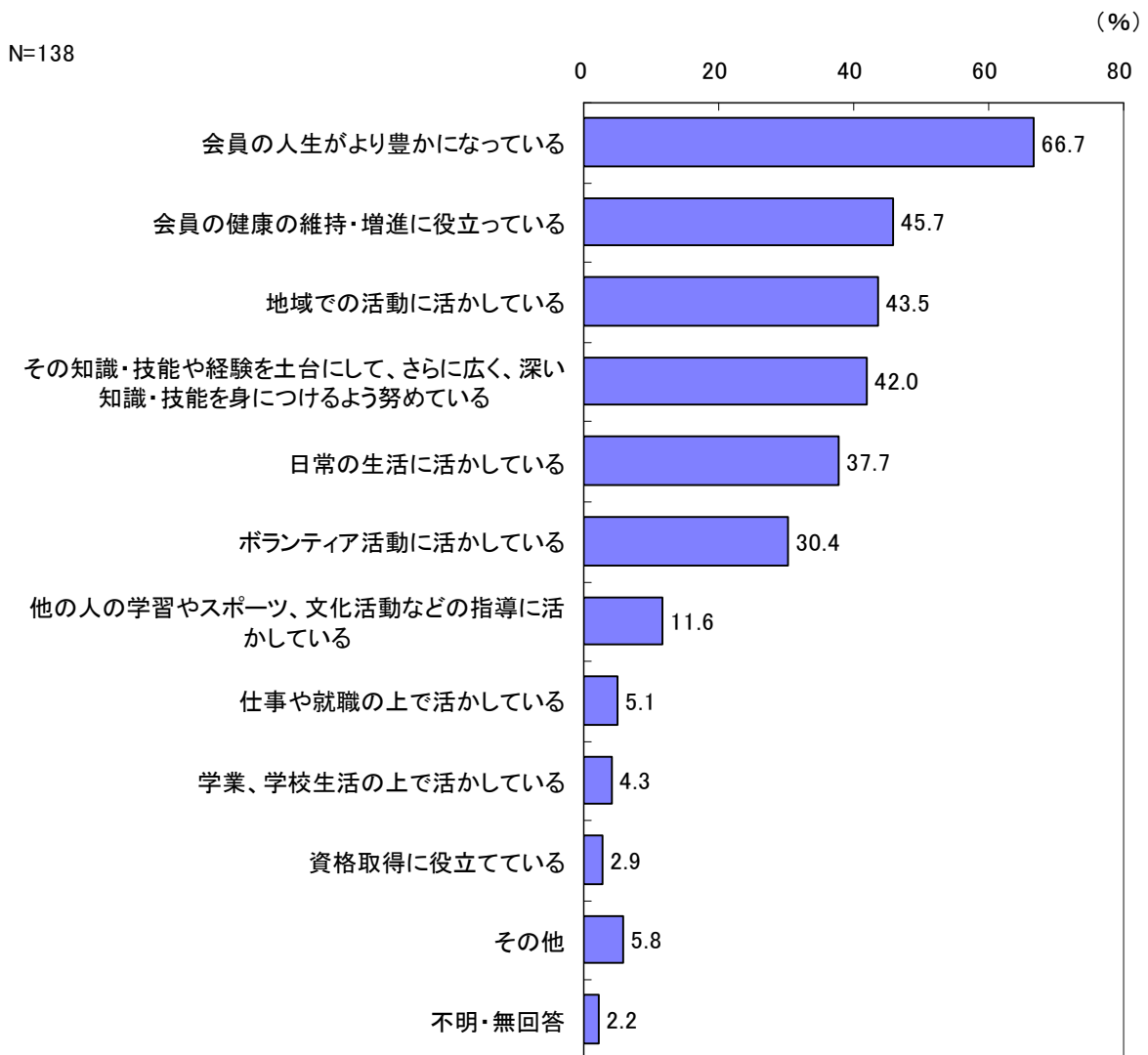
(%)



問 10 貴団体では、身につけたことや活動成果をどのように活かしていますか。

身につけたことをどのように活かしているかについては、「会員の人生が豊かになっている」が66.7%と最も高く、次いで「会員の健康の維持・増進に役立っている」が45.7%、「地域での活動に活かしている」が43.5%となっています。

■活動成果の活かし方（複数回答）

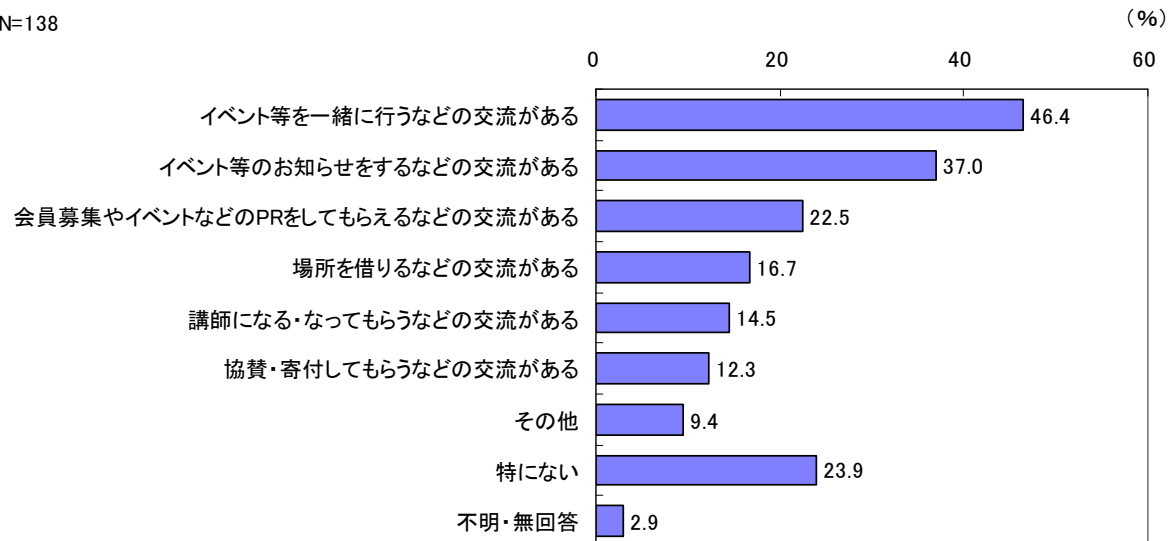


問 11 貴団体では、地域の他団体や個人との交流がありますか。

地域の他団体や個人との交流については、「イベント等を一緒に行うなどの交流がある」が46.4%と最も高く、次いで「イベント等のお知らせをするなどの交流がある」が37.0%、「会員募集やイベントなどのPRをしてもらえるなどの交流がある」が22.5%となっています。

■他団体・個人との交流（複数回答）

N=138



問 12 貴団体が活動を展開していく上で市に望むことはどのようなことですか。

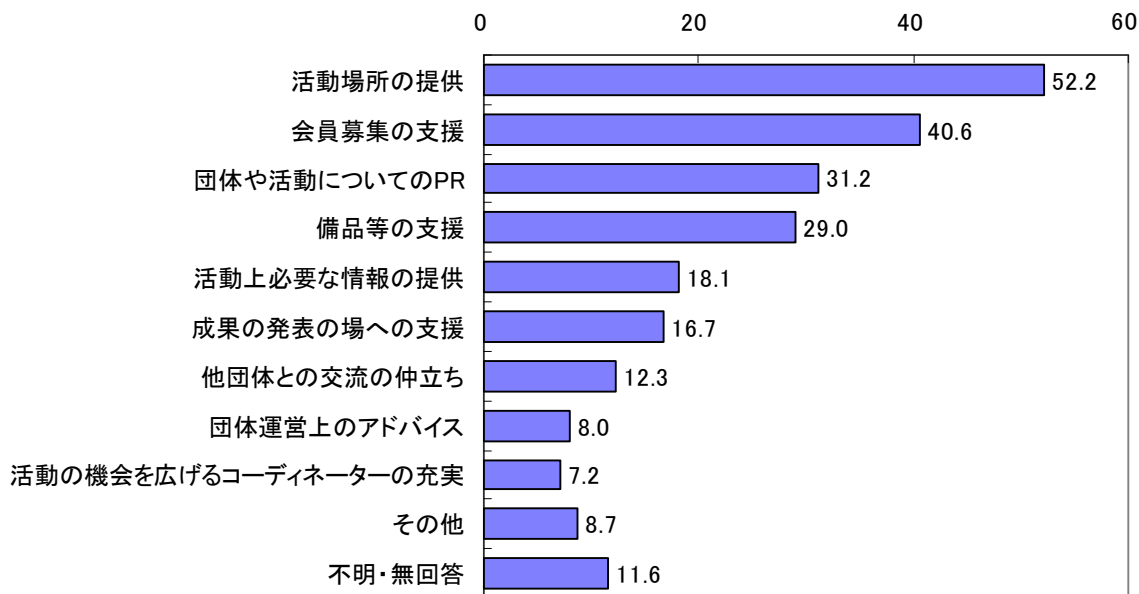
活動をしていく上で市に望むことについては、「活動場所の提供」が 52.2%と最も高く、次いで「会員募集の支援」が 40.6%、「団体や活動についてのPR」が 31.2%となっています。

活動年数別にみると、【1年以上～5年未満】の比較的新しい団体で、「団体や活動についてのPR」や「備品等の支援」の割合が高くなっています。

■活動上、市に望むこと（複数回答）

N=138

(%)



■活動上、市に望むこと×活動年数

		活動上、市に望むこと											
		活動場所の提供	会員募集の支援	他団体との交流の仲立ち	団体や活動についてのPR	活動上必要な情報の提供	団体運営上のアドバイス	備品等の支援	成果の発表の場への支援	コーディネーターの充実	活動の機会を広げる	その他	不明・無回答
	N												
活動年数	1年未満	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1年以上～5年未満	16	62.5	37.5	6.3	50.0	31.3	12.5	50.0	25.0	-	6.3	6.3
	5年以上～10年未満	20	45.0	60.0	15.0	30.0	20.0	5.0	35.0	10.0	25.0	10.0	15.0
	10年以上～15年未満	38	50.0	36.8	13.2	34.2	13.2	7.9	28.9	26.3	5.3	13.2	7.9
	15年以上～20年未満	16	31.3	50.0	37.5	37.5	43.8	12.5	18.8	12.5	12.5	6.3	12.5
	20年以上	46	60.9	34.8	4.3	21.7	8.7	6.5	23.9	10.9	2.2	4.3	15.2

3 自由意見

問 13 市では「ぬくもりのあるまちづくり」を基調に、調布市らしい生涯学習施策を進めていきたいと考えています。貴団体が考える「調布市らしさ」や「調布市の魅力」とは、どのようなことですか。

■分野別件数

項目	件数
人・コミュニティ	23
自然環境	18
施設の充実	12
行政・施策	8
スポーツ	5
住みやすさ・落ち着き	4
芸術・映画・アニメ	4
福祉	4
アクセス・立地	4
歴史文化	3
楽しさ	2
その他	8
合計	95

■主な意見

●人・コミュニティ
私たちシルバー世代が、楽しく健康にいつまでも仲間と住める町であること。
1人でも多くの高齢者が老後を有意義に過ごせること。
人に優しい街であることです。特に立場の弱い弱者(子どもも含め)への支援を街ぐるみでできることが大切です。そしてその弱者も同様です。
ぬくもりは人のつながりから生まれます。つながりを生き生きとしたものに育てるためには出会いを辛抱強く見守る姿勢が行政にも求められると考えます。
調布市に神代植物公園を含め、多摩川、野川、仙川によって緑の多い町です。恵まれた自然にはぐまれた人々の「やさしさ」や「思いやり」が調布市民の特性だと思えます。「お互いを思いやる心」をスローガンにすすめることです。
調布市在住の文化人に、講演会等、地域社会と一緒に活動に参加していただく様、もっと働きかけていただきたい。
世代を超えた交流のある調布。
世代間を越えて、皆が安心して楽しく過ごせる町として共助の精神で身近な分野で市民参加と協働のまちづくりに進んでいる事に魅力を感じます。
世代間の交流、親交が定期的に行われ町の中で知人が増えていく。
市民の平均年齢は何才くらいなのだろうか。学習というより体験・実働に基づく、人との利害無しのある関係がある。信頼できる人と人との絆を実感しているグループ活動。これが学習の域を超え、心の安定を得ることができる。調布にはそんな人々がまだまだ暮らしている。
市民活動がさかんなところ。
市民が元気、市民活動が比較的活発で市政や文化に対して関心の高い人、意見を述べる人が多い。自ら行動する人が多いのが調布らしさであると思えます。幅広い活動に柔軟に対応して頂く事が市民の声の届く町、風通しのよい町を育てていくと思えます。

市民、住民、町の人々が互いに声をかけ合い、お互いを理解し、必要な時助け合える事が理想。
サークル活動を通じ、年齢には関係なく人と人との暖かい交流を深め、常に若々しく、青春を謳歌できる市民活動が可能。
穏やかで笑顔が溢れる人々が生き生きと生活している場。緑が多く自然の景観にも恵まれた環境に囲まれた町が調布市の魅力だと思う。
あたたかさが感じられる、人と人とのつながりのあるまち
「調布に住んでいてよかった」という声を、「中高年パソコン教室受講者」や「パソまるクラブ会員」から時々聞きます。「安価」とは別の、「親切」「優しさ」が住む町の魅力となるのでは。
大学、著名人がいらっしやる事から、文化的、教育的にも誇りをもって紹介できる街と考えています。子どもや大人にも、「人」にやさしい。そんな街であるように期待しています。

●自然環境
非常に恵まれた環境の中で活動をしています。野川公園、深大寺、味の素スタジアムの回りなどは走ったり、歩いたり(ウォーキング)する絶好の場所だと思います。この様なコースを組合わせて調布市独自のウォーキング大会などを実施することを望みます。自然環境が多く残る調布を前面に出すことを望みます。
緑が豊かなこの地域で音楽を通して「ぬくもりのあるまちづくり」の一員になっていく。
身近にある貴重な緑と川を皆で大切にし、静かでありながら、活発に生活を楽しむことが出来、安心して暮らせる町。
調布市は緑が多く、自然と親しむのに良い町だと思います。その豊かな地盤に文化の華を開かせて健康で住み易い、平和な都市を目指したいものです。
多摩川・野川・深大寺等と、自然に恵まれた市だと幸せに思います。
市内に豊かな自然が残っている事と、適度に田舎っぽいいところ。ビルばかりが並ぶまちはあたたかさが感じられませんが、商店街が残っていたり、個人商店が元気なまちは気持ちになごみます。他市から来た人が、駅を降りたら空が見えたので驚いたと言っていました。自慢できると思っています。
神代植物公園、多摩川、野川と緑の多い環境にあるので植物画を学んでいくのには恵まれた市だと思う。
調布は京王線を軸に北には深大寺など、南には多摩川が流れ、自然が豊かな街です。そのことは、調布を大切に考え住みよい環境を整えようとする努力の賜物です。
自然も豊かで古くから生活を営んでいる人たちにぬくもりを感じる人が多い。しかし我々が取材していく中で、畑や自然環境の維持の難しさ、開発により失われていくものも見聞きする。やはり古きよきものを維持し、自然環境を守る事で、ひいては調布市らしさ・魅力が保全されるのだと思う。

●施設の充実
定年後も元気に活躍できる人の多い時代ですから、ただ単に長寿に満足するのではなく楽しく有意義に老後を過ごす事が大切だと思います。幸いに調布にはスポーツ施設、たづくりといった活動場所がありますから、バランスのとれた活動が可能だと思います。
調布市は活動を行う場所も多く良いと思います。ただ、高齢者(大人)への活動の場は多いのですが、子供達が活動できる場所、時間帯などはもう少し考えていければ良いと思います。
調布市の魅力？それは神代植物園でしょう。その近くの体育館も魅力です。
活動に利用し安い様に、地域(いろんな場所均等)に公民館を増やしてもらいたい。公民館を中心に、地域交流やつながりが生まれていくと思われま。
①調布市では市施設(図書分館、地域福祉センター等)学習の場が比較的多いように思います。生涯学習、健康増進にメリットがあります。②特に「たづくり会館」は生涯学習の拠点としての利便性が大きくあると思います。
「たづくり」という素晴らしい建物にめぐまれ活動しやすい様々な学習サークルが存在しているという事は、選択肢が多く魅力あるまちだと思います。
味の素スタジアムの存在、調布市花火大会。

●行政・施策
我が調布が市制をひいた折は、「文化の街 調布」本田市長が提案なさった事を思い出します。心のゆとりを持ち、元気に楽しい一生を過ごしたく思います。魅力のある町、調布！！生涯学習を希望する人々

<p>が手近に向き合えるような町、是非市策の中に盛り込んでいただければ幸いです。</p>
<p>他の市の様子を聞き、調布市は市の人達に対して色々と思いやりのある事をして下さる市だと思います。今後もどうぞ宜しくお願いします。</p>
<p>市民の声が反映された政策が行なわれる事。形式的な会合で意見聞いて、それがほとんど反映されないようなケースは困ります。</p>
<p>子どもからお年よりまで誰もが“ずっとここで暮したい”と思えるような街にするには、市民だけでも行政だけでもできません。両方の協働が不可欠です。行政は市民を、市民は行政を、とお互いの信頼関係の上の街づくりができるといいですね。</p>
<p>個人や個人の属する団体が自由な発想で生涯学習を続けられ、調布市がその意志を見守り、バックアップして下さる姿勢が良いと思っています。6年間続けてこられた事に感謝しています。</p>

<p>●スポーツ</p>
<p>調布市はバドミントンが盛んだと聞いています。実際小学校から調布ジュニアなどに入っている子もいますが、子供も大人もまだまだ練習できる場所が少ないと思います。いつでも練習出来る場所があれば、もっとバドミントン人口も技術も向上するのではと思います。</p>
<p>地域スポーツの底辺拡大のため地域毎の学校開放を通して年何回か親子卓球教室のようなイベントをやって会員拡大を図りたい。調布市は学校開設がしっかりと機能しており、下地は充分に出来ていると思う。</p>
<p>体育館に於いて、後期高齢者を含めて、全員が楽しくの伸び伸びと運動することができること。</p>

<p>●住みやすさ・落ち着き</p>
<p>のびのびとした市民同士が支援できるほのぼのとした地域。</p>
<p>調布市は静かな町だと思います。緑が沢山ある美しい町であってほしいです。</p>
<p>甲州街道を中心とした地域と新しい住宅地の混合した住民による調和のとれたまちができればよいと思います。</p>

<p>●芸術・映画・アニメ</p>
<p>入会時に気が付いた事は近隣都市からの参加が可能であったこと。これは素晴らしい！その後方々調べてみたが美術サークルで50以上のサークルをもつ自治体はないと分った。調布市として誇れる事と思います。調布市美術展等をもっと大きいスペースでもっと広く集めては如何ですか？</p>
<p>調布市は「映画の町」を標榜していますが、映画と演劇は密接な関係にありますので演劇にも力を入れて頂きたい。その意味で先年「せんがわ劇場」がオープンしたのは喜ばしい事ですが、もう少し市民劇団に安く開放して「文化の町」をアピールして頂きたい。</p>
<p>調布市にはグリーンホール、くすのきホール(むらさき、グリーンホール小ホールは平面)の大型劇場がありどちらかと言えば都心的な形態を追っており、その為に使用の一年前に申し込んでも中々抽選に当たりません。それでいて各種の発表会等を見ると、半数以上は空席となっております。大型劇場系は都心部にまかせて公会堂的な小、中型の劇場ホールがあると良いのですが。(すみません、仙川劇場まだ見ていません)</p>

<p>●福祉</p>
<p>調布市は福祉的なことでは他地域よりも進んでいると自負されていますが、決してそうではありません。もっと他地域で行われている施策を取り入れて、「ぬくもりのある町」と真に言える「まちづくり」に取り組んで欲しい。</p>
<p>調布らしさでいえば、福祉に優しい町のイメージがあります。高齢者が多くなる時代で元気なお年寄りを作る事が大切と考えます。</p>
<p>障害のある人が一歩町へ出て行ける町、生き生きと生活することは働く場があることだと思います。そして働き続けられるために見守る人々がいて支えていく制度があれば違ってくるのではないのでしょうか。人の温もりが居場所にたくさん集まってくるような調布の町が「ぬくもりのある町」だと思います。</p>

<p>●アクセス・立地</p>
<p>都心に比較的近くありながら、緑多く、人と人のつながりが得やすい”いなか”を残す「まち」でありたい。 ⇒”とかいなか”</p>

子育て世帯の流入が多いことから、都心への通勤に便利で緑豊かな調布は子育てしやすい街のはずです。ただ核家族で地縁を持たない方などの孤独育児が親を追いつめ、子育てしにくい状況をうんでいると思います。子どもを産むことが楽しみで、周囲の人に見守られながら肩の力を抜いて育児できる環境づくりのために、さまざまな立場の方々と一緒に考え、アイデアを交わしていくことができる民力の高さが調布にはあると思います。

東京都の都心でもなく逆にはずれに位置することもなく、人間らしい生活、人との触れ合いが出来る町だと思います。

●歴史文化

災害があまりないように思える。調布って言っても、パット思いうかぶ行事・産物その他の事がないかもね。普通の町。私の住んでいる深大寺があるから……。ああ調布ねって言われますよ。

調布市の文化協会の活動が私たちにはよく分からない。文化の発展ある市にしたいと思います。

●楽しさ

「調布市らしさ」「調布市の魅力」は、寺社では伝統的な祭礼が行われる一方、たづくりを中心とする公民館等の市の施設では多くの市民が各々自分の趣味に合った活動を楽しんでいて「皆が楽しんで生きる町」というところにあると思います。

子どもから大人まで、何かを始めるのに、年齢はないと指導をしていて感じます。特に、バレエというと、気軽に始められない！と思っいらっしゃる方も多いと思いますが、当団体では無理なく楽しく自分らしくをモットーにしています。自分らしく自分の時間を大切にできることにより、いきいきと前向きに生活している一人ひとりの気持ちが、「調布らしさ」につながっていくのではないのでしょうか。

●その他

健全な心と体をもって参加するスポーツ、各サークルの交流会など市民も近隣の仲間たちも集まれるつどいがあるとよい、現在も続けています。

「ぬくもり」のコンセプトを勉強しきれしていない。より具体的な考え方を知りたい。過去から将来に向かって通じる調布らしさを、まずより具体的に示して頂きたい。これを継続とするなら、これに添った横糸に我々は力を注ぎたい。

「調布らしさ」とか「調布の魅力？」という旗印を持ち出すと議論が分かれるし、面倒になるが要するに住んでいる町に満足し、誇りを持つ人が増えてくれればいいのではないか。

問 14 団体活動を運営していく上で、市からの活動支援などへご意見やご提案があればご記入ください。(例：団体として活動する上での悩み・市への要望など)

■分野別件数

項目	件数
学習・活動・発表の場	19
施設利用・運用	13
学習・活動への補助	12
学習・活動への参加	11
備品整備	9
情報発信・提供	8
施設整備	6
協働・連携	4
行政・施策	4
指導者・専門家	2
学習メニューの充実	2
その他	9
合計	99

■主な意見

●学習・活動・発表の場
場所の確保に苦慮している。体育室がこの一年で一回も取れず、会議室で行っている。広い所で動きたい。(火曜午前希望なのですが、とれないため休まざるを得ない事もある)
当地域は公的な場所が少なく、活動拠点を確保することが出来ません。新しく建つマンションなどの一角に提供して頂けるとよいのですが、何とか考えて頂けないでしょうか。新会員(運営に関わってくれる人)募集の努力はしているのですが、なかなか難しいところがあります。良い方法を探っています。
活動の成果を発表をし、各自思い出を造りたいと、生涯学習としての想いを作るために発表の場所が必要です。しかしながら残念なことに、市の施設がなかなか利用できません。何か良いアドバイスをいただければ幸いです。せめて周年の折だけでも、希望の日・時を実現したいと希望致します。
調布市民囲碁大会における会場の優先確保ができないか。現在秋の文化祭は実行委員会より確保して頂いていますが、春の大会の時の会場確保が希望する日の取得に困っています。(神代囲碁クラブとしてではなく、調布市アマチュア囲碁連盟としての意見です)
小規模な団体の横のつながりがないので、会を設置してお互いの情報交換をし、出来れば発表の場を支援してほしい。
市民劇団の発表の場の提供と一般市民への情報提供及び活動費の援助を継続的にお願いしたい。
サークル活動をしていく上で一番大事な事は、活動する場所を確保する事です。現在抽選で外れると場所探しに苦労します。いつもたづくり音楽室が確保できるといいのですが。
ご支援には大変感謝しております。しかし毎週の合唱練習会場の確保にとても苦労しております。ピアノのある会場を増やす等、ご検討頂けると幸いです。よろしく願い申し上げます。
車イスの方などが大人数で使える場所を地域に整備して欲しい。(平日夜間に学校校舎開放も含む)
活動場所の提供(活動場所の確保が大変です)。
活動場所の確保、使用料は値上げしないで欲しい。いつもたづくりを利用して頂きありがとうございます。
常時30人以上の活動規模のため、会場と用具保管スペースの確保に苦慮しています。
会議室の確保に苦慮しています。困難な事はよく分かりますが、たづくりを含め、周辺に増加していただく様努めていただきたい。
私たちの年1回の発表大会において、調布市くすの木ホールの使用がなかなか取れず、他市等で開催を余儀なくされています。

●施設利用・運用
調布ヶ丘地域センターを利用させてもらっていますが、外気を入れたくても「網戸」がないので開けられず仕方なくクーラーとかになります。又音が異常にうるさいの(クーラーの室外機の音)と換気扇の吹き出し口に掃除が出来てなく埃まみれにがっかりしています。
たづくりの会議室やその他の施設を使っているが、施設そのものは他市には見られない充実したものになっているが、使用する時には四角四面の使用規則のため大変使いづらい。これらの施設が市民の使用の為にあるのなら、市民の要望に応え、より柔軟に対応してもらいたい。
たづくり施設調理室使用に付き、毎月申込み致し抽選の結果当落が決まります。申し込み多数の場合及び調布市のイベントの都合にて市が先に優先的に取る為、希望の日時の確保が困難な場合があり、その様な事が無い様にしてほしい。
たづくり学習室を利用しているが、時々予約が取れなく困る。にもかかわらず、業者のような方がセミナー等をやっている、サークル活動を優先してくれないのかな、と思ったりもします。
創部以来10年余り、「布田南ふれあいの家」を活動の拠点にしていますが、毎月1日に翌月の場所の確保の為、申込み受付時間の2時間前(以前は9時、現在9:30から受付)から道路に並んでいます。何とかならないものかといつも思います。会計面、だいぶ緩和されてはきましたが、補助金を頂いていますので仕方のない事かと思いつつながら、段々と高齢化し、後継者作りが悩みの種です。
各団体の活動の主舞台となっている「たづくり」の運営について2点。各団体が会場の確保に苦労している一方、営利目的の利用が散見される。毎月末に2～3日の全館休館を行っており、年間では1ヶ月近くになるが、この日数は減らせるのではないか。
2011年春より会議室予約し、支払いをする時に毎回、申込書に記入しないといけなくなりましたが、今迄どおり記入無しでも良いように手続の簡略化をして頂く事が私達市民の活動を支援して頂く事になるのではと思います。ぜひご一考下さい。
・間12と関連して、生涯学習団体のロッカーを設けて、登録している団体に期間を区切って貸し出すことは出来ませんか。講演会前に多量の資料等、保管する場所がないので、一か月半使用できると助かります。
・たづくり利用料金の支払方法の改善—4ヶ月前の申込月で20日抽選の落選や当選の変更の場合、翌月1日再申込をする前に当選会議室の料金を当月中に支払うことになっています。インターネットでいつも申込手続をしています。変更が確定した場合、再度入金手続に行かねばなりません。20日の4ヶ月前の抽選で〆切日が使用日前であったとき、メンドウです。使用日に手続が出来れば有難い。ダブって当選した団体は使うつもりのない教室は月内に返却し、入金は翌月10日位までにしていただければ何度もたづくり受付に出向かなくてすみます。たづくりまで行くのに交通不便な方や忙しい方の為に考えていただきたいと思います。昨年(?)の改定でかえって二重手間になったと思います。
●学習・活動への補助
市民団体の活動に対する施設使用料の減免措置を拡大して頂きたい。例えば施設ごとに登録団体申請を行わなくても学習サポートに認定されていれば市内、あくろす、たづくり、福祉センター等、使用料減免が認められると大変ありがたいです。
市民劇団の発表の場の提供と一般市民への情報提供及び活動費の援助を継続的にお願いしたい。
市への登録団体ははずした為、公民館の使用が有料になりました。料金がもう少し安いと有り難いです。
活動場所が有料の為、その運営資金の補助金をお願いしたい。精神の病の方とご家族を支援しているが、一般への病の啓発も大切。講座・講演会を定期的開催が必要。その講師料等の確保は大切なこと。市からの補助金を望む。
昨年10月、調布市に自分の居場所を求める青少年のための居場所を開設し、今年8月までの述べ利用者は1,600名を数え、その多さに驚くとともに、保護者、市内関係機関からの相談、問い合わせに改めてこの活動の必要性を確信しました。現在運営費はこの活動に賛同して下さる方からの会費と寄付金によって賄われています。そのほとんどが部屋の維持費に使われています。この活動は市の青少年健全育成に十分寄与し得る活動と考えます。また、活動資金の支援があれば、より充実した活動ができると思います。
若い人の入会がなくて、メンバーの高齢化が進み、年々クラブの維持が難しくなっている。しかし地域のためにもクラブは存続させたい。一方市内の他チームでは若手や上級者が特定のチームに片寄って集まり、極端な二極化の状態になっている。

若い人の加入がなく、皆高齢化し種々のサークルも参加が少なくなり、悩みます。
会員の人数が減るばかりで…。新しい会員(できれば30代、40代)の加入を望んでいます。調布市内の小中学校の保護者にPRできればと思っています。
地域性もありますが、若い方がなかなか残ってくれず、長年続けてらっしゃる方が高齢になられ、会員が少なくなっています。会が続けたいのか心配です。
新入会者を増やすための施策・支援。
新規会員の入会動機は「たづくりの1Fロビー、及び11Fの貴課で、サークル紹介の資料を見た」が多い。お世話になっております。多謝!
市報や広報などを通して会員募集をしているが、なかなか会員が集まらない。特に若い人(私達にとって50代、60代でも若い人のうち)が入らないので会長や世話役のなり手がなく、会員数も少なくなり、会の運営が大変です。何か良い方法ありませんでしょうか。
会の活動の様子など市民の方々に知って頂く為に小規模の機会を作って下さい。作品の紹介など文化祭には出していますが、あまり作る方が少なくなり困っています。会員募集が難しいです。
・定年退職した人が相談しやすい窓口とは、「それらしい表示」「相応の年輩の熟練した対応者」が望ましいのでは。・会員募集についてよい方法がないか、一緒に検討したいです。

●備品整備
総合体育館の冷房設備がほしい。音楽機器も新しくしてほしい。
備品の補充、保管場所の確保。
音楽レッスン場(例:たづくり)の使用器具を完備して欲しい。例えば音楽レッスンに必要な「楽譜立て」が整備されてないところがある(創作室は音楽室ではないからという理由で整備しないのは使用者にとっては大変迷惑なことである)。使用者の立場に立って考えてもらいたい。
いつも「たづくり」を利用させておりますが施設内で鏡(全体が見れる大きな鏡)のあるスペース(部屋)はリハーサル室のみで他の大きな部屋、又は施設(地域センター等)内に鏡があればと考えています。よろしくお願いします。
・運動用具等の支援。

●情報発信・提供
市民劇団の発表の場の提供と一般市民への情報提供及び活動費の援助を継続的にお願いしたい。
市報、又はそれに準ずる広報紙での情報発信の場(活動内容の告知等)がほしい。
サークルPRのため市報掲載期間(次の掲載まで)を短縮して貰いたいです。
インフォメーション窓口の対応を、出来れば正確にスピーディーにお願いします。
1.市報等により、サークル活動を容易にPRできるよう、お願いしたい。2.交通便のよい、市の施設をなかなか利用できない(例、総合福祉センター等)。目下公民館を利用しているが、交通便が悪く場所も狭いため、サークル活動を拡大するのは極めて困難。
会員募集の方法(市報)の見直し。掲示など充実してほしい。
現在のこちらに登録されているものの、あまりアピールする機会もなく、年月がたっている気がします。登録団体に募集を希望している団体を、順番に広報誌に載せていただくなどがあるとよい。

●施設整備
西調布体育館を使用しているが、抽選にはずれて週1回の活動が難しい。最近はサークル数も増えて、申し込み数が多い。市民が身近にスポーツできる西調布体育館のような、ミニ体育館を増やしてほしい。
調布市は体育館が1つしかありませんので、もう少し練習場所(体育館がほしい)と思います。
多摩川少年野球場内の設備充実。(水道・トイレ・日除け)
主に使用している活動場所は深大寺地域福祉センターです。ご存知のように目につみにくい場所です。現在建築中のゴミ焼却場近くに市民の集える50名くらい収容の集会室があってほしいと願います。他区市町村からみえる方にとっても交通の便が良くなると思います。
主として市総合体育館の小体育室の半分を使わせていただいて稽古していますが、参加者が多く手が触れ合うような状況ですので、これ以上新会員の受入をしにくいのが悩みです。体育館をもっと作れませんか。
・体育館の空調整備。「避難所」の性格からしても要考慮。

<p>●協働・連携</p> <p>民間ならではの柔軟な発想や行動力を生かして、協働事業を推進することをご提案できればと思います。単なる下うけ事業ではなく、自由度の高い協働のしくみができれば、生涯学習もしくは広く市民活動をする人たちが力を出すのではないかとイメージしています。</p> <p>自分達の殻に閉じこもるだけでなく、他団体との交流も大切だと考えます。そのような機会があればと思います。</p> <p>京王電鉄への働きかけの仲介役をお願いしたい！京王管理地区の花づくりのため！</p> <p>高次脳機能障害者は退院後、リハビリを受けたくても行き場がなかなかないという現状です。当方は高次脳機能障がい者活動センターを4月開所、火～土まで様々な活動を行っておりますが、調布市の利用者が少なく、きびしい運営状況にあります。この障害のリハビリには、継続したグループでのコミュニケーションや訓練が効果的です。市職員の見学も含め、多くの利用者が参加可能になるよう、協力体制を要望いたします。</p>

<p>●行政・施策</p> <p>ただいつもはなしのなかに出る事は富士見町四丁目あたりが不便だということです。買物、通院など。先日ものはぎを出しましたが、ご検討下さいましたでしょうか。</p> <p>生涯学習を担当する行政部門、公民館、社会教育課などの職員が変わりすぎます。市民活動、団体活動は手まひまがかかるものです。直接市民とかかわることも職員にとっては大切だと思います。職員体制も含めて、行政も市民の団体活動にもっと手まひまをかけて支援をしてもらいたい。</p> <p>地域づくりを行政は進めていますが、その前に市役所の縦割り制度を、面行政にすることができなければ、地域で活動する為の問題を解決することは難しい。(まず行政に横のつながりが必要。)</p> <p>行政は縦割り社会ですからと行政マン自ら述べることが多いが、それを是としているのではなく、やむを得ないという意味で言っている。これでは改革は望めない。大胆に横串政策を打ち出して欲しい。</p>
--

<p>●指導者・専門家</p> <p>防災に対して、自治体や管理組合への意識向上・指導を、援助をお願いします。</p> <p>・私たちの活動と市の図書館は深い関わりがあり、活動を大きく支えてもらっています。職員の質の高さを維持するためにも、正規の図書館職員の確保と人数の確保をぜひお願いします。</p>
--

<p>●学習メニューの充実</p> <p>出前講座の充実、年2～3回は利用させて頂いておりますが、あまり講座利用の変化がない。健康維持になる講座など年1回の出前講座でなく会場、会員がありますので、定期的に出前講座を希望します。</p> <p>最近学童の参加希望者が増えており、中国などで教育分野での普及が進んでいる事もあり、この傾向が続けば、当連盟の研修が現状、熟年者等と一緒に一般市民の研修として実施して居りますが、若干限界を感じており、将来的には学童専門の教室を作る必要があるのではないかと思います、行政の方々のご意見も頂きたいと考えております。</p>
--

<p>●その他</p> <p>団体としては少人数で、何とも云えませんが、今迄通りで何の活動支援も希望しておりません。ただ、その時間(夜、7時～8時)に顔を合わせて、楽しくストレッチをして、何時までも体を整えたいと思っています。</p> <p>「生涯学習振興計画」は数年前に作成した「社会教育計画」と、どのようにマッチングさせていくのでしょうか。計画づくりに数年関わっていたので、是非貴計画策定時、参照されることを望みます。</p> <p>我々のグループの様なボランティア主体のものも、生涯学習の範疇に入るのでしょうか。</p>
--

III 資料編

1 調査票

生涯学習振興計画策定に向けた団体アンケート調査 ～生涯学習について皆様の声をお聞かせください～

【アンケート調査へのご協力のお願い】

日頃より、市政にご協力をいただき誠にありがとうございます。

現在、調布市では、今後の生涯学習を、より皆様のニーズに即しつつ、将来にわたって体系的・計画的に推進するため、「生涯学習振興計画」の策定を進めています。

このアンケート調査は、市内で学習活動、地域活動、ボランティア活動など、さまざまな生涯学習関連活動をされている皆様の中から、本市の「さがす見つかるシステム」に登録されている団体を対象に、日頃感じている生涯学習についてのご意見・ニーズ等をおうかがいし、計画づくりに活かすとともに、市の生涯学習事業を推進していくための基礎資料とするために実施するものです。

なお、調査結果をふまえ、後日直接ヒアリングをさせていただくことがございます。アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 23 年 9 月

調布市長 長友 貴樹

<ご記入にあたってのお願い>

- 1 代表者、または代表に準ずる方（事務局等）がご記入ください。
- 2 お答えは、あてはまる回答の番号に○を付けてください。また、記入欄については、具体的に内容をご記入ください。
- 3 ご記入いただきました調査票は、**9月26日（月）**までに事務局宛てでお送りいただけるようお願いいたします。
- 4 この調査に関するお問い合わせは、次の通りです。

調布市文化会館たづくり 11 階 生涯学習交流推進課

TEL：042-441-6112/FAX：042-441-6115

団体名			
代表者名		記入者名	
会員数	（ 人）	内、市内在住（ 人）	
常時活動者数	（ 人）	内、市内在住（ 人）	
主な活動内容	（例：フラダンスのサークル、自然学習ボランティアなど）		

I 貴団体の概況について

問1 貴団体の活動年数をお答えください。(ひとつに○)

1	1年未満	3	5年以上～10年未満	5	15年以上～20年未満
2	1年以上～5年未満	4	10年以上～15年未満	6	20年以上

問2 貴団体の会員構成としては、どの年代が多いですか。(ひとつに○)

1	10歳代	3	30歳代	5	50歳代	7	70歳代
2	20歳代	4	40歳代	6	60歳代	8	80歳以上

問3 貴団体は現在主にどのような形で活動を行っていますか。(○はいくつでも)

1	外部講師を呼んでの学習	6	会員同士の交流・懇親や情報交換
2	技術習得・向上のための練習・稽古	7	試合・大会などの企画・参加
3	会員同士による相互学習	8	発表会・展示会などの企画・参加
4	一般市民対象の公開講座・講演会の開催	9	地域のイベントへの企画・参加
5	鑑賞や見学	10	その他()

問4 活動上の課題(困っていることなど)はどのようなことですか。(○はいくつでも)

1	費用がかかる	8	リーダーや役員のなり手がいない
2	時間をつくりづらい	9	人間関係が難しい
3	適切な指導者や講師がいない	10	活動の目標等の共有化が図りにくい
4	適当な活動場所が近くにない	11	十分な情報が得られない
5	適当な活動場所を確保しづらい	12	情報発信ができない
6	成果を活かす場や機会が少ない	13	その他()
7	新たな会員等の確保が難しい		

問5 貴団体の活動頻度はどのくらいですか。(ひとつに○)

1	毎日	4	月2～3日	7	年1～5日
2	週2～6日	5	月1日	8	その他(具体的に)
3	週1日	6	年6～11日		

問6 会費は集めていますか。(ひとつに○)

1	集めていない	2	集めている
↳ 年間いくらですか? (ひとつに○)			
1	1,000円未満	3	3,000円以上 5,000円未満
2	1,000円以上 3,000円未満	4	5,000円以上

問7 新会員の受け入れは常時行われていますか。(ひとつに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 常時受け入れ体制がある | 3 あまり積極的に受け入れていない |
| 2 定期的に受け入れている(年___回) | 4 受け入れていない |

問8 市の生涯学習関連施設のうち、団体活動でよく利用するものはどれですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 たづくり(図書館除く)・グリーンホール | 8 屋外スポーツ施設(テニス、野球場など) |
| 2 あくろす | 9 総合福祉センター |
| 3 せんがわ劇場 | 10 地域福祉センター・ふれあいの家 |
| 4 公民館 | 11 小・中学校(学校開放など) |
| 5 図書館 | 12 CAPS・青少年交流館 |
| 6 郷土博物館・実篤記念館 | 13 多摩川自然情報館 |
| 7 体育館 | 14 その他() |

II 貴団体の活動の具体的状況について

問9 貴団体の活動目的は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 趣味を豊かにするため | 7 自由時間を有効に活用するため |
| 2 教養・能力を高めるため | 8 資格取得に役立てるため |
| 3 他者との交流や知人を得るため | 9 老後の人生を有意義にするため |
| 4 地域をよくするため | 10 仕事や就職・転職に役立てるため |
| 5 ボランティア活動に必要なため | 11 健康や体力づくりのため |
| 6 高度な専門知識を身につけるため | 12 その他() |

問10 貴団体では、身につけたことや活動成果をどのように活かしていますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 ボランティア活動に活かしている |
| 2 日常生活に活かしている |
| 3 地域での活動に活かしている |
| 4 その知識・技能や経験を土台にして、さらに広く、深い知識・技能を身につけるよう努めている |
| 5 他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に活かしている |
| 6 会員の人生がより豊かになっている |
| 7 会員の健康の維持・増進に役立っている |
| 8 学業、学校生活の上で活かしている |
| 9 仕事や就職の上で活かしている |
| 10 資格取得に役立っている |
| 11 その他() |

問11 貴団体では、地域の他団体や個人との交流がありますか。(〇はいくつでも)

- 1 イベント等のお知らせをするなどの交流がある
- 2 イベント等を一緒に行うなどの交流がある
- 3 会員募集やイベントなどのPRをしてもらえるなどの交流がある
- 4 場所を借りるなどの交流がある
- 5 講師になる・なってもらうなどの交流がある
- 6 協賛・寄付してもらうなどの交流がある
- 7 その他 ()
- 8 特にない

問12 貴団体が活動を展開していく上で市に望むことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- 1 活動場所の提供
- 2 会員募集の支援
- 3 他団体との交流の仲立ち
- 4 団体や活動についてのPR
- 5 活動上必要な情報の提供
- 6 団体運営上のアドバイス
- 7 備品等の支援
- 8 成果の発表の場への支援
- 9 活動の機会を広げるコーディネーターの充実
- 10 その他 ()

問13 市では「ぬくもりのあるまちづくり」を基調に、調布市らしい生涯学習施策を進めていきたいと考えています。貴団体が考える「調布市らしさ」や「調布市の魅力」とは、どのようなことですか。

問14 団体活動を運営していく上で、市からの活動支援などへご意見やご提案があればご記入ください。(例：団体として活動する上での悩み・市への要望など)

ご協力ありがとうございました

登録番号
(刊行物番号)

2011-166

調布市生涯学習振興計画策定に向けた アンケート調査結果報告書

発行 調布市 生活文化スポーツ部 生涯学習交流推進課
東京都調布市小島町2-33-1
調布市文化会館たづくり11階
Tel: (042)441-6112

調査・分析 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 東京支社
東京都文京区本郷3丁目23-1 クロセビア本郷6F
Tel: (03)5803-9933(代)
